

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>		障害者等の職業相談経費		担当部局	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成18年度(開始)・終了年度未定		担当課室	障害者雇用対策課		障害者雇用対策課長 山田 雅彦		
会計区分		一般会計 労働保険特別会計雇用勘定		施策名	II-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	重点施策実施5か年計画 (平成19年12月25日障害者施策推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		障害者の求職者に対するきめ細かな相談、職業紹介等を実施することを通じて障害者の就職促進を図ること、精神障害者の求職者に対して専門的なカウンセリング等を実施し、精神障害者の雇用促進、職場定着を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		ハローワークにおいて、就職支援ナビゲーター(障害者支援分)等を配置し、求職者一人ひとりの障害特性に十分配慮しつつ、その適性に応じた専門的支援を行う。また、精神障害者については、カウンセリングスキルの高い専門的資格を有する者等を精神障害者雇用トータルサポーターとして配置を行うことなどにより、障害者の就職促進、職場定着を図る。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	1,671	2,416	2,883	2,907	2,967	
			補正予算	353					
			繰越し等						
			計	2,024	2,416	2,883	2,907	2,967	
		執行額	1,657	2,163	2,343				
執行率(%)	82%	90%	81%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
		ハローワークにおける就職件数		成果実績	件	45,257	52,931	59,367	前年実績以上
				達成度	%	102%	117%	112%	
		精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階(求人情報の提供、面接訓練等)へ移行した者の割合		成果実績	%	-	-	78%	60%
達成度	%			-	-	129%			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		就職支援ナビゲーター(障害者支援分)1人あたりの活動件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	1,441	前年度実績以上 (1,441)
単位当たり コスト		2,653(円/件)		算出根拠	平成23年度就職支援ナビゲーター(障害者支援分)の執行額1,465百万円/平成23年度就職支援ナビゲーター(障害者支援分)の活動件数552,010件				
		23,611(円/人)		算出根拠	平成23年度精神障害者雇用トータルサポーターの執行額349百万円/平成23年度精神障害者雇用トータルサポーターのカウンセリング対象者14,781人				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	人件費	2,907	2,967	精神障害者雇用トータルサポーターの活動人日の増による増額					
	計	2,907	2,967						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、国が行う職業紹介の一環として実施しているものであり、また障害者の雇用促進に当たっては、国が行う事業主指導・支援と一体的に実施することが、効率的かつ効果的であるため、国が実施すべき。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	精神障害者雇用トータルサポーターについては制度創設して間もないため、適任者の確保に時間を要した結果、全予定日数を配置出来ず、執行額が予算額を下回ったものである。
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	平成23年度から就職支援ナビゲーター（障害者支援分）及び精神障害者雇用トータルサポーターを配置しているため、経年での比較は出来ないが、必要最低限の経費であり、水準は妥当と考える。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	障害者に対するきめ細かな職業相談等の事業の実施に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	平成23年度のハローワークにおける就職件数は、前年度実績以上となり、実績は向上している。
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度のハローワークにおける就職件数は、前年度実績以上となり、障害者の就職促進や精神障害者の常用雇用への移行促進を図るため、障害者の求職者に対するきめ細かな相談、職業紹介等や精神障害者の求職者に対して専門的なカウンセリング等を実施する当該事業が非常に有効な施策となっている。このため、今後も引き続き当該事業を実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	障害者等の職業相談経費は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	940	平成23年行政事業レビュー	812



※平成23年度実績を記入

国

厚生労働省  
2,343百万円

【予算示達】

都道府県労働局(47局)  
2,343百万円

・就職支援ナビゲーター(障害者支援分)による専門的支援

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					